

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

西川 博会長 年度目標
「ロータリーの輪を広げよう」

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 矢野雄嗣



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 西川 博
幹事 加藤 久明

事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第888回 例会No. 27平成 26年1月23日(木) 晴	
ロータリー研修	
■ ロータリーソング	「それこそロータリー」
■ 出席報告	会員46名中26名出席
■ 出席率	58.50% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	1月9日 95.24%
■ スピーカー	岡田守功さん、藤田守彦さん、 加藤久明幹事

会長挨拶

皆さんこんにちは。今年にはいって1月も終わりに近づいてきました。

和暦24節気では1月20日は大寒(最も寒さが厳しい季節)です。立春は2月4日、春が待ち遠しいですね。

今月の例会は次週休会で今日が1月最後です。来月2月20日は我々のクラブが主催するIMがあります。全員協力して成功させましょう。

本日は、SSD「ソリッド・ステート・ドライブ」についてお話をいたします。SSDはHDD「ハードディスク」に代わって読み書きが超高速ということでパソコンのドライブに使われ始めてきました。従来のコンピューターの記憶装置はテープ、回転するディスクを使った磁気テープ、フロッピー、CD、DVD、ハードディスクなど機械的に動くものですが、半導体を使った電子記録装置SSDの性能、記憶容量、コストが最近飛躍的に改善してOSの起動が劇的に早いということで、タブレット、ノートパソコンにも多く使われるようになってきました。そこで従来の記憶装置との違いを少しお話したいと思います。

今一般に販売されているSSDの記憶容量は64GB～512GB、価格は1万円～5万円程度でハードディスクの1T(テラ)(1000GB)1万円と比べてまだまだ高額です。しかし3、i5、i7などパソコンのCPUが高速になってきてもデータの受け渡しに時間がかかってはせっかくの性能が発揮できません。そこで周辺機器の高速化のSSD、そして有線、無線LANの100MBから1GB/sへの高速化を図って大量のデータを快適に、いわゆる「サクサク」と処理できることになりました。

SSDはハードディスクドライブ(HDD)と比較すると以下のような特徴があります。

利点: シークタイムがないためランダムアクセス性能に

優れる。

物理的な稼働箇所がないため省電力、動作音がしないので静か。

物理的な稼働箇所がないため HDD よりはるかに振動・衝撃に強い。

よいところが多いSSDですが、フラッシュメモリーを利用するSSDの一般にはあまり知られていない特性を紹介しましょう。

SSDの特性の1つめは、容量によって書き込み速度が変わること。

2つめは、長期間使い続けたり、空き領域が極端に少ない状態で使ったりしていると、遅くなってしまいます。そして3つめが、フラッシュメモリー自体に寿命があることです。

容量によって書き込み速度が変わる理由は単純で、パソコンから来たデータは、SSD内部のコントローラーが複数のフラッシュメモリーに対して並列に書き込みます。

例えば、120GBクラスのSSDは4つのチップに同時書き込みするのに対して、250GBクラスは倍の8個に書き込む。速度は当然2倍になる500GBクラスの製品はさらに書き込みが速くなります。長期間使い続けると遅くなる理由は、フラッシュメモリーは、データを記録する「セル」と、それを一定数まとめた区画で構成されています。フラッシュメモリーは構造上データを直接書き換えられないため、ある程度まとまった区画をいったん消去してから書き込むからです。

これからSSDはHDDに代わってコンピューターの記録ドライブに多く使われることになるとは思いますが、寿命の点では使い方に注意が必要でたとえば、OS、プログラムを起動ディスクドライブにSSD、データをDドライブHDDに、またSSDでデフラグを繰り返すと寿命を縮めてしまうのでデフラグをしない設定にしておくなどです。最近SSDを使い始めましたので調べてみました、参考になれば幸いです。

御清聴ありがとうございました。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎2月6日(木)第889回例会 「クラブフォーラム」

◎2月13日(木)第890回例会 外部卓話

NPO法人 アサンテナゴヤ理事 内海 眞 様

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ニコBOX

●本日は「ロータリー研修」例会です。岡田守功さん、加藤幹事、宜しくお願いいたします。 西川会長、若原、岩田、安江、藤田、十文字、田中、川原、安藤、和田、立石、松尾、吉田、亀井、小管、横田、後藤、河原、長谷川、水野(敬称略)

大岩さん 誕生日プレゼントありがとうございました。

本日合計 43,000円

フィリピン台風被害義援金

フィリピンへの義援金を集めて地区に送金致します。ご協力をお願い申し上げます。

本日合計: 2,000円(累計:44,000円)

IM 実行委員会からの報告

実行委員長 藤田守彦



2月20日に開催される「西名古屋分区インターシティミーティング」の現在の準備状況などについてお話頂きました。

ロータリー研修

第5代会長 岡田守功



幹事 加藤久明



ロータリー活動、ロータリー精神、ロータリーの基本などについて研修致しました。

ハイライトよねやま 166号

(米山記念奨学会ニュース WEBより抜粋)

1. 寄付金速報=2014年もよろしくお祈りします=

12月までの寄付金は前年同期と比べ1.6%増、約1,270万円の増加です。



普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が2.3%増となりました。また、7~12月の累計額は8億2,600万円と、直近5年間で最高額となりました。ロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

今月初めに「2013年度 下期普通寄付金のお願い」を、各ガバナー事務所経由で全クラブにEメール(一部FAX)でお送りしています。普通寄付金は当事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に財団法人設立の許可を得た経緯があります。また、当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年もご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

2. 恩恵の倍返しだ! =台湾米山学友会総会開催=

台湾米山学友会(正式名称:社団法人中華民國扶輪米山会)の年次総会が12月14日、台北市内で開催され、米山学友67人と、来賓や日本からの参加者を合わせて120人以上が出席しました。

今回の総会のテーマは、日本で流行したドラマの決め台詞をもじった「恩恵の倍返し」。このドラマは台湾でも大ヒットし、昨年、第6代理事長に就任した林維宏さんも、久しぶりに夢中になって見たそうです。総会の挨拶に立った林理事長は、同学友会が日本への恩返しとして、台湾に留学する日本人支援の奨学金を2009年から継続していることに触れ、これまでに支援を寄せたすべての関係者にあらためて感謝を表わすとともに、「恩恵の倍返し」をモットーに、これからは事業のさらなる発展に努力していきたい」と、決意を述べました。日本人奨学生2人は登壇して林理事長から奨学金を受け取り、前年度奨学生とともに、台湾学友会への厚い感謝を述べました。

当日は、新たに入会した6人の学友も紹介され、来賓として出席した当会の板橋敏雄理事長と、第2660地区米山学友会の何玉翠会長から、学友会の会員バッジが授けられました。台湾では2015-16年度、2人目の米山学友出身のガバナーが誕生します。第3520地区のガバナーノミニーに選出された学友の林華明さん(1984-86/東京世田谷RC)も今回の総会に出席し、台湾学友や日本の来賓たちとの親交を深めました。